シラバス参照

タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

科目ナンバー	RMGT4602		
科目名	ゼミナールⅡ		
担当教員	杉山　幸一		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火４		
講義室	1301	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ＤＰコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E〔学識・専門技能〕　専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP7-L〔協働力・牽引力〕　集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。 DP3-G〔状況把握力・判断力〕　自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP6-K〔表現力・対話力〕　文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 DP8-M〔省察力〕知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 DP4-F〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP2-B〔自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢〕　自己の存在意義を知り、自らを高め続けようと努力することができる。 DP7-C〔他者理解・倫理観・公共心〕　人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕　文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ＣＲコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（ＣＲ）との関連 Ｅ１　学識と専門技能（20%） Ｌ１　チームワーク（20%） Ｇ１　状況把握（15%） Ｋ１　ライティング・コミュニケーション（10%） Ｍ１　統合的・応用的学修（10%） Ｆ２　課題解決（10%） Ｂ１　自己啓発（5%） Ｃ１　倫理的思考・社会認識（5%） Ｉ１　理解・分析と読解（5%）		
教員の実務経験	なし		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 ３発展期～４完成期		

科目概要・キーワード	危機管理とその基礎となる法学に関する専門的な研究活動を実践するために、必要な研究の手法を学び、学生自らが個人のテーマを設定し、研究論文を執筆するための指導を行います。ここでは、卒業論文につながる個人研究に関する研究方法、調査方法などを確立するために、その学術的方法の検討と指導を行います。 授業形態は(講義・実技・実習・演習)形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 （キーワード）危機管理、法学、研究テーマの構築、仮説の検証
授業の趣旨	■副題 危機管理の法的問題に関する憲法学的研究 ■授業の目的 危機管理と法学、特に憲法学に関する研究テーマの探求、研究手法の会得、研究成果の発表の各過程を通じて、①学識・専門技能、②協働力・牽引力、③状況把握力・判断力、④表現力・対話力、⑤省察力の各コンピテンスの開発を行うことを目的とする。 ■授業のポイント 将来のキャリアを見据えた学びにおいて、①自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢、②倫理観と公共心、③理解力・分析力の各観点について自覚を持つことも望まれる。
総合到達目標	■旺盛な関心をもって危機管理学及びそれを支える法学における重要問題を探求し、これを科学的な手法によって分析することができる。 ・研究方法や研究論文の進め方について理解できる。（第1回） ・問題点や論点を探究し、自らの見解を持つことができる（第2回～第8回） ・問題意識を持ち、探究することができる（第2回～第8回） ■論理的に解釈して知見を見出すとともに、その成果を卒業論文にまとめ、適切に表現することができる。 ・自らの見解を証明するための文献や資料収集することができる（第9回～第15回） ・文献の読み方や資料の解釈などを修得する（第9回～第15回)
成績評価方法	■成績評価手段 実技・パフォーマンス各自2回（50%）：適用ルーブリック：E1・G1・K1・M1・B1・C１・I１ （評価方法）様々な社会上の憲法問題を認識し、その中から自らの問題意識をもち、その問題の構造を理解し、状況を把握できているか、その問題に対して卒論に向けて目的を持ち、いかに内容を展開させていくか、アイデンティティ―を確立し、条文を解釈し、他者との議論を通じて自らの見解を確立できているか評価します。 （フィードバック）授業時間内に解説を実施し、テーマの適切性、仮説の妥当性について講評します。 ■授業参加度15回（50%）：適用ルーブリック：E1・L1・G1・K1・M1・B1・C１・I１ （評価方法）他者の研究内容を通じてまず自らの知識を取り出し、活用しているか、またその研究の結論が妥当であるかどうか、対立点の発見や解消、最適化を議論を通じてなされているか、評価します。他者の研究内容は自分には関係ないという姿勢ではなく、全員で研究内容について検討し、議論しているか、評価します。 （フィードバック）各自の意見が妥当なものか、議論が適切になされているか、参加しているかの態度について講評します。
履修条件	なし
履修上の注意点	特になし
授業内容	<table><tr><th>回</th><th>内容</th></tr><tr><td>1</td><td>①授業テーマ ガイダンス（全体のテーマ、授業の進め方、成績評価の仕方等の説明）、イントロダクション ②授業概要 （ガイダンス）授業概要、授業の目的と進め方、到達目標、成績評価方法について説明を行います。 （イントロダクション）研究方法（E1)、レジュメの作り方（M1・I1)、議論の方法（G1・K1) ③予習（120分） ゼミナールⅠで設定した研究テーマと文献について確認しておく。 ④復習（120分） ゼミナールⅡの概要と到達目標を確認し、何を習得すべきなのか確認する。</td></tr><tr><td>2</td><td>①授業テーマ 研究テーマについて研究① ②授業概要</td></tr></table>

	発表担当者は自ら設定したテーマについて、卒業論文作成へ向かうために、様々な文献を読んだ結果をプレゼンするためにレジュメにまとめてもらいます（E1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。発表担当者以外は、レジュメの内容について矛盾などがないか、不足していることがないか、論点がずれていないかなどチェックし、疑問があれば質問し、議論を深めてもらいます（E1・L1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。 ③予習(120分) 自ら設定したテーマと収集した文献・資料をある程度まとめておく。 ④復習(120分) 今回発表した学生のテーマについてどのような点が指摘され、質問が出たのか確認したうえで自分の発表に生かすようにする。
3	①授業テーマ 研究テーマについて研究② ②授業概要 発表担当者は自ら設定したテーマについて、卒業論文作成へ向かうために、様々な文献を読んだ結果をプレゼンするためにレジュメにまとめてもらいます（E1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。発表担当者以外は、レジュメの内容について矛盾などがないか、不足していることがないか、論点がずれていないかなどチェックし、疑問があれば質問し、議論を深めてもらいます（E1・L1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。 ③予習(120分) 自ら設定したテーマと収集した文献・資料をある程度まとめておく。 ④復習(120分) 今回発表した学生のテーマについてどのような点が指摘され、質問が出たのか確認したうえで自分の発表に生かすようにする。
4	①授業テーマ 研究テーマについて研究③ ②授業概要 発表担当者は自ら設定したテーマについて、卒業論文作成へ向かうために、様々な文献を読んだ結果をプレゼンするためにレジュメにまとめてもらいます（E1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。発表担当者以外は、レジュメの内容について矛盾などがないか、不足していることがないか、論点がずれていないかなどチェックし、疑問があれば質問し、議論を深めてもらいます（E1・L1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。 ③予習(120分) 自ら設定したテーマと収集した文献・資料をある程度まとめておく。 ④復習(120分) 今回発表した学生のテーマについてどのような点が指摘され、質問が出たのか確認したうえで自分の発表に生かすようにする。
5	①授業テーマ 研究テーマについて研究④ ②授業概要 発表担当者は自ら設定したテーマについて、卒業論文作成へ向かうために、様々な文献を読んだ結果をプレゼンするためにレジュメにまとめてもらいます（E1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。発表担当者以外は、レジュメの内容について矛盾などがないか、不足していることがないか、論点がずれていないかなどチェックし、疑問があれば質問し、議論を深めてもらいます（E1・L1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。 ③予習(120分) 自ら設定したテーマと収集した文献・資料をある程度まとめておく。 ④復習(120分) 今回発表した学生のテーマについてどのような点が指摘され、質問が出たのか確認したうえで自分の発表に生かすようにする。
6	①授業テーマ 研究テーマについて研究⑤ ②授業概要 発表担当者は自ら設定したテーマについて、卒業論文作成へ向かうために、様々な文献を読んだ結果をプレゼンするためにレジュメにまとめてもらいます（E1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。発表担当者以外は、レジュメの内容について矛盾などがないか、不足していることがないか、論点がずれていないかなどチェックし、疑問があれば質問し、議論を深めてもらいます（E1・L1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。 ③予習(120分) 自ら設定したテーマと収集した文献・資料をある程度まとめておく。 ④復習(120分) 今回発表した学生のテーマについてどのような点が指摘され、質問が出たのか確認したうえで自分の発表に生かすようにする。

7	①授業テーマ 　研究テーマについて研究⑥ ②授業概要 　発表担当者は自ら設定したテーマについて、卒業論文作成へ向かうために、様々な文献を読んだ結果をプレゼンするためにレジュメにまとめてもらいます（E1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。発表担当者以外は、レジュメの内容について矛盾などがないか、不足していることがないか、論点がずれていないかなどチェックし、疑問があれば質問し、議論を深めてもらいます（E1・L1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。 ③予習(120分) 　自ら設定したテーマと収集した文献・資料をある程度まとめておく。 ④復習(120分) 　今回発表した学生のテーマについてどのような点が指摘され、質問が出たのか確認したうえで自分の発表に生かすようにする。
8	①授業テーマ 　卒業論文に関するプレゼン方法 ②授業概要 　各自が設定した卒業論文の内容を整理することを目的に、問題意識、問題提起、仮説、仮説の立証、そして用いる参考文献などについてプレゼンをしてもらうために、その方法や中身について指導します（E1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。 ③予習(120分) 　研究方法やテーマの内容について確認してくる。 ④復習(120分) 　今回の内容を踏まえて、各自のテーマに沿ってパワーポイントを作成してもらう。
9	①授業テーマ 　卒業論文に関するプレゼン① ②授業概要 　発表担当者は自が設定した卒業論文の内容を整理することを目的に、問題意識、問題提起、仮説、仮説の検証、そして用いる参考文献などについてプレゼンをしてもらいます（E1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。発表担当者以外は、内容について矛盾などがないか、不足していることがないか、論点がずれていないかなどチェックし、疑問があれば質問し、議論を深めてもらいます（E1・L1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。 ③予習(120分) 　今までやってきた作業を再確認し、各自パワーポイントにまとめてもらう。 ④復習(120分) 　授業で指摘されたこと、疑問を呈されたことを確認し、修正をする。
10	①授業テーマ 　卒業論文に関するプレゼン② ②授業概要 　発表担当者は自が設定した卒業論文の内容を整理することを目的に、問題意識、問題提起、仮説、仮説の検証、そして用いる参考文献などについてプレゼンをしてもらいます（E1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。発表担当者以外は、内容について矛盾などがないか、不足していることがないか、論点がずれていないかなどチェックし、疑問があれば質問し、議論を深めてもらいます（E1・L1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。 ③予習(120分) 　今までやってきた作業を再確認し、各自パワーポイントにまとめてもらう。 ④復習(120分) 　授業で指摘されたこと、疑問を呈されたことを確認し、修正をする。
11	①授業テーマ 　卒業論文に関するプレゼン③ ②授業概要 　発表担当者は自が設定した卒業論文の内容を整理することを目的に、問題意識、問題提起、仮説、仮説の検証、そして用いる参考文献などについてプレゼンをしてもらいます（E1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。発表担当者以外は、内容について矛盾などがないか、不足していることがないか、論点がずれていないかなどチェックし、疑問があれば質問し、議論を深めてもらいます（E1・L1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。 ③予習(120分) 　今までやってきた作業を再確認し、各自パワーポイントにまとめてもらう。 ④復習(120分) 　授業で指摘されたこと、疑問を呈されたことを確認し、修正をする。
12	①授業テーマ 　卒業論文に関するプレゼン④ ②授業概要

		発表担当者は自が設定した卒業論文の内容を整理することを目的に、問題意識、問題提起、仮説、仮説の検証、そして用いる参考文献などについてプレゼンをしてもらいます（E1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。発表担当者以外は、内容について矛盾などがないか、不足していることがないか、論点がずれていないかなどチェックし、疑問があれば質問し、議論を深めてもらいます（E1・L1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。 ③予習(120分) 今までやってきた作業を再確認し、各自パワーポイントにまとめてもらう。 ④復習(120分) 授業で指摘されたこと、疑問を呈されたことを確認し、修正をする。
	13	①授業テーマ 卒業論文に関するプレゼン⑤ ②授業概要 発表担当者は自が設定した卒業論文の内容を整理することを目的に、問題意識、問題提起、仮説、仮説の検証、そして用いる参考文献などについてプレゼンをしてもらいます（E1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。発表担当者以外は、内容について矛盾などがないか、不足していることがないか、論点がずれていないかなどチェックし、疑問があれば質問し、議論を深めてもらいます（E1・L1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。 ③予習(120分) 今までやってきた作業を再確認し、各自パワーポイントにまとめてもらう。 ④復習(120分) 授業で指摘されたこと、疑問を呈されたことを確認し、修正をする。
	14	①授業テーマ 卒業論文に関するプレゼン⑥ ②授業概要 発表担当者は自が設定した卒業論文の内容を整理することを目的に、問題意識、問題提起、仮説、仮説の検証、そして用いる参考文献などについてプレゼンをしてもらいます（E1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。発表担当者以外は、内容について矛盾などがないか、不足していることがないか、論点がずれていないかなどチェックし、疑問があれば質問し、議論を深めてもらいます（E1・L1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。 ③予習(120分) 今までやってきた作業を再確認し、各自パワーポイントにまとめてもらう。 ④復習(120分) 授業で指摘されたこと、疑問を呈されたことを確認し、修正をする。
	15	①授業テーマ 各自の反省 ②授業概要 ゼミナールⅠとⅡでの反省点や自分の研究テーマについて振り返ります（E1・G1・K1・M1・B1・C1・I1）。 ③予習(120分) ゼミナール1とⅡで、自分がどのように成長し、ゼミへ貢献したか、自分の卒業論文がどこまで進んでいるかを把握しておく。 ④復習(120分) 指摘や気づいたことをまとめて、整理しておく。
関連科目		ゼミナールⅠ（RMGT4601）、ゼミナールⅢ（RMGT4603）、ゼミナールⅣ（RMGT4604)、危機管理基礎演習Ⅰ（RMGT2601）
教科書		特になし
参考書・参考ＵＲＬ		その都度、紹介する。
連絡先・オフィスアワー		■連絡先　開講時に告知します。 ■オフィスアワー　火曜日1限　それ以外の時間については、メール等で事前にアポイトメントとをとることにより研究室で対応します。
研究比率		■危機管理領域との対応 災害マネジメント25%、パブリックセキュリティ25%、グローバルセキュリティ25%、情報セキュリティ25% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学20%、法学80%

戻る

Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.